

病気を治すだけでなく、患者さんの心も癒す

くまちゃん通信



2020.3
Vol. 11

URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>

医療法人 朗源会 大隈病院

骨粗鬆症チェック 『骨密度検査』のご案内

高齢者の皆さん! あなたの骨、大丈夫ですか?



近年、「骨粗鬆症(こつそしょうしょう)」という言葉をよく聞かれると思います。骨粗鬆症とは、骨が構造的にもろくなり、骨折しやすくなる骨の病気です。

骨がもろくなると、高齢者では、“つまずいて転倒した・しりもちをついた・大きなくしゃみをした”などの少しの衝撃でも腰椎圧迫骨折とか、大腿骨頸部骨折などを生じ、日常生活に影響を与えます。

骨粗鬆症は、女性に多い病気ですが、糖尿病やリウマチなど自己免疫疾患の方も要注意です。また、最近では、遺伝的な体質・偏食・極端なダイエットにより若い女性の骨粗鬆症も問題になっています。

当院では、患者さん自身に骨量を知ってもらい、少しでも早く治療を開始し、骨折のリスクを減らしてもらえたらと考え、骨密度検査(DXA法)をお勧めしています。検査は、仰向けに寝て腰椎と股関節を撮影しますが、撮影とその後の解析を合わせて5分ほどで終わる簡単で楽な検査です。一度、検査をされて骨折予防に役立てて下さい。



職員から職員へつなく、地域へのメッセージ

メッセージ

患者さんから「この先生が主治医でよかった。」 と思われるように!



診療部 医師
大西 益美

昨年4月から大隈病院へ入職させていただきました大西益美です。

これまで、医師となってから大学病院、市中の急性期病院から慢性期病院、健診センター等に勤めてきました。様々な立場で様々な患者さんに携わるなか、複数の病気を抱え、ご家庭の事情も複雑化し、病気・けがを急性期病院で治療をうけられた方が再び充実した生活に戻ることが困難な場合が増えてきていることを実感していました。そんな中、急性期病院からお家への架け橋である“地域包括ケア病棟”を有し、職員全員で取り組んでいる大隈病院で勤務できることにご縁を感じております。と、いろいろ固い内容を書いてきましたが、患者さん・家族さんと一緒に悩み考え、「この先生が主治医でよかった」と思われるよう努力していきたいと思っています。

【病院仲間からのひと言】 当院期待のNo.1若手Dr.です!

次号予告

次号は、「総務課 事務次長 井内 章介」からのメッセージです。

外来(看護部)

って、どんなところ？



朗らかで、やりがいのある職場を目指しています。

外来看護師 主任 盛重 やす乃

当院の外来では、看護師9名とクラーク4名で外来診療業務を頑張っています。

来院される患者さんもこの杭瀬地区の方が多く、我々スタッフに気軽に話しかけていただけます。つい会話が弾み、杖をついて来られたのに杖なしで帰宅され、途中で気づいて恥ずかしそうに取りに戻ってこられる光景を目にする事もあります。

令和の時代を迎え高齢化社会が進む中、私達が患者さんに向けてどのようにすれば、満足した医療を受けてもらえるのか日々考えさせられます。入院に際しても、当院地域連携室の看護師や社会福祉士と相談し、情報を共有してスムーズに受け入れられる連携を心掛けています。これからも、会話の中にも明るい雰囲気作りを心掛け、優しさと思いやりの心を忘れず、地域の方のご要望にお応えできるように業務にあたっていきますので、遠慮なくお声をおかけください。



社会参加の場、 「くまちゃん健康ランド」はじめました!

おおくま院内ニュース

入院中でも
社会参加
しよう!

リハビリテーション課 作業療法士 中村 陽子

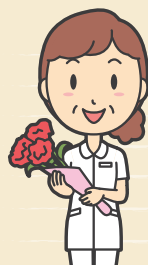
近年、介護予防・フレイル予防が話題となっており、社会とのつながりを持っておくこと(あいさつする・おしゃべりする・笑う)が、重要だと言われています。しかし、病気や怪我のため入院すると社会とのつながりが一時的に失われます。患者さんによっては1日中病室にいて、看護師さんとはしか会話しなない日々が続くことも。「入院患者さん同士がつながる場があったらいいな…」という思いから、「くまちゃん健康ランド」が、今年1月に誕生しました。月2回の活動は、あいさつから始まり、体操・音楽療法・季節の壁飾り制作などを行いながら、おしゃべりたくさん、笑顔いっぱい活気ある場になっています。認知症の方が童謡をスラスラ歌ったり、麻痺のある方が片手で器用に紙の花を作ったりなど、それぞれの患者さんが持っている力に毎回驚かされています。「入院中でも社会参加しよう!」をモットーに今後も活動を続けていきますので応援よろしくをお願いします。



退職の挨拶

みんなの支えがあり、看護師を続けることができました。

地域連携室 看護師長 畑 雅子



この3月で定年退職となります。昭和57年、病院勤務の看護師としてスタートし、38年が過ぎました。昭和・平成・令和と時代も移り変わり、いろんな出来事がありました。阪神・淡路大震災の日は管理当直でした。JR福知山線列車事故の時は、そのすぐ近くの病院で勤務していました。忘れられない出来事、思い出もたくさんあります。大隈病院に就職してから今年で11年になりますが、上司や仲間、そして家族に支えられ、看護師という仕事を続けることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。この場を離れる寂しさはありますが、大隈病院の発展と皆様のご活躍を心より願っています。本当にありがとうございました。

※今年度退職の方々を代表して、メッセージをいただきました。

医療法人 朗源会 大隈病院

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町2-17-13
TEL:06-6481-1667(代表) FAX:06-6481-1753
URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>



基本方針

- 地域の人々に信頼される病院になります。
- 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
- 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
- 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくります。

朗源会グループ ■岩崎クリニック ■大隈病院附属 歯科クリニック ■在宅事業部
■特別養護老人ホーム ほがらか苑

大隈病院

検索

「くまちゃん通信」2020年3月 第11号 発行 大隈病院
企画協力・デザイン・印刷 兵田印刷工業株式会社